

令和5年度柴田町男女共同参画推進審議会委員からの意見等

- 全体
コロナ禍でできないことがあったけれど、5年度こそは大収穫の時期。今までの力を出すときなので、この次のときに、努力いたします、なんて言われると、またかとなる。目標達成状況の○が一つでも増えるように取り組んでほしい。
- 2-1-9「保育体制の充実」(子ども家庭課)
私立保育所の開所や勧誘を行っているが充足率が気になる。女性が働くためには、保育所はやっぱり大事。
- 2-1-10「ひとり親家庭等への支援の充実」(子ども家庭課)
利用者1人で利用回数50回という回数が気になる。病気であれば心配。支援員の賃金にするとすごい額だと思う。
- 5-1-2「地域デビュー事業の実施」(生涯学習課)
男性の生きがいをづくりのためとあるが、3つの教室の内容を見ると、1と2は完全に女性の方が多い。ターゲットや年齢要件、開催日を考えて計画してほしい。
男性の生きがいをづくりのためと、あえて男性と書いてあるが、今後は性を書くのもNGになってくると思う。男性・女性に関わらず、男女の生きがいをづくりのために、例えば男性向け、女性向け、男女どちらも向けなどの教室があったらいいと思う。
- 5-2-2「防災指導員の養成」(総務課)
今いろんな自然災害が起きているので、防災にどう地域で活躍するのか、男女共同参画が図れるのかというのは、やっぱり力を入れなければいけないところだと思う。
今までも強気にやってきたと思うが、女性のリーダーがいないところ、講習会に行っていないなどいろいろあるので、女性たちの枠をしっかりと作ってあげるのが大事だと思う。ぜひ、女性のリーダーを増やしていただきたい。